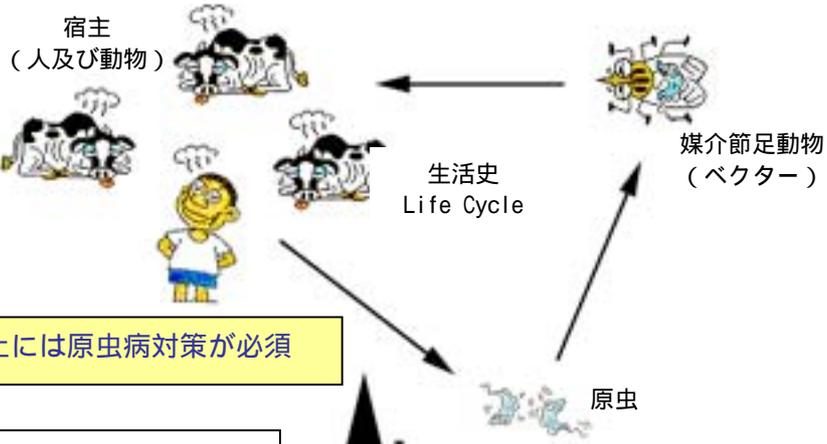


大 学 名	帯広畜産大学	学 問 分 野	生命科学
専 攻 等 名	原虫病研究センター		
拠点のプログラム名称	動物性蛋白質資源の生産向上と食の安全確保 特に原虫病研究を中心として		
拠点リーダー氏名	五十嵐 郁 男	所 属 部 局 ・ 職	原虫病研究センター・教授
プログラムの概要	主として原虫病研究を推進することにより、人畜共通感染症対策、動物性蛋白質資源の安定供給及び食肉乳製品の安全性確保を目標とする。		
拠点形成の目的・必要性	<p>世界食料サミットでも提唱されているように、世界的規模での畜産振興及び動物性蛋白質資源確保の基本理念は、我が国のみならず世界人類の健康保持及び食料の安定的供給にある。また、BSE問題に端を発した動物食肉乳製品の安全確保は、日本国民の一大関心事となっている。そこで、本センターでは、家畜原虫病に関する中核的研究拠点を形成し、大動物畜産衛生学研究に実績を有する学内研究者の全面的支援により、「動物性蛋白質資源の生産向上と食の安全確保」を目標とし、その成果をもって人類の健康福祉に貢献することを目的とする。</p> <p>21世紀に向けて、人類が十分な動物性蛋白質を確保するためには、アフリカ、アジア、南米地域での家畜生産性向上が必要とされているが、これらの地域における生産性は先進国と比較すると極めて低い。この低い生産性の原因は原虫病をはじめとする感染症被害によるものである。したがって、原病の予防と治療法の確立は、獣医・畜産学両分野に共通の緊急課題である。また、原病の多くは人畜共通感染症であり、家畜輸出入の激増する日本においては、家畜法定伝染病予防法に定められている感染症の日本搬入阻止あるいは蔓延阻止のための獣医・畜産分野を統括した研究拠点の役割は極めて重要である。本研究センターは、我が国の獣医・畜産学教育研究における原虫病研究の研究拠点に位置するのみならず、先進国及び開発途上国を含めた世界の一流研究者を招聘し国際共同研究を展開しているが、今後、名実共に卓越した世界の獣医原虫病研究拠点を目指す。すなわち、地球規模での人類食料資源の確保及び生態系維持保全の確保に貢献するための基礎研究を展開し、世界に類を見ない独自の領域を確立する。</p>		
研究拠点形成実施計画	<p>国内獣医・畜産系大学唯一の全国共同利用施設である『原虫病研究センター』を中核とし、これまでの家畜の原虫病に関する研究実績を基礎に、2006年を目途に世界の獣医畜産学領域における蛋白質資源の生産性向上と食の安全確保に関する研究拠点を形成に向け、組織一丸となって以下の研究計画を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原虫病研究グループ <ol style="list-style-type: none"> (1) 動物の原虫感染に対する抵抗性遺伝子の遺伝子工学的及び発生工学的研究 (2) 原虫・宿主相互細胞機能の免疫病理学的研究 (3) 自殺原虫による多機能ワクチンの開発研究 (4) 安全な乳肉生産を目的としたベクター・コントロール・システムの開発 2. 食品媒介性感染症研究グループ <ol style="list-style-type: none"> (1) 人畜共通感染症の感染機構と防御に関する研究 (2) BSE診断技術開発 3. 畜産衛生研究グループ <ol style="list-style-type: none"> (1) 食肉乳製品の化学的及び衛生的乳質の安全性に関する研究 (2) 家畜生産性向上のための新規生殖技術開発 (3) 食品安全性に対応したフードシステムの構築に関する研究 		
教育実施計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまで実績のある以下の人材育成を今後も推進する。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 岐阜大学大学院獣医学研究科の構成組織として、大学院生の研究教育 (2) 東京大学大学院農学生命科学研究科の大学院生を特別学生として研究教育指導 (3) ドイツ・ミュンヘン大学から研究生を受け入れ、Ph.D.取得のための研究教育指導 (4) 民間会社等から社会人を受け入れ、ブラッシュアップ及び学位取得のための研究教育指導 (5) 文部科学省案件であるJICA上級原虫病研究コースへの外国人研究員に対する研究教育指導 (6) 科学研究費による海外学術調査を通じた技術移転 (7) JICAプロジェクトによる技術移転 2. 本学の将来構想における専門職大学院への教育参加 		

**動物性蛋白質資源の生産向上と食の安全確保
特に原虫病研究を中心として**

原虫病研究グループによる動物性蛋白質資源の生産性向上

- (1) 動物の原虫感染に対する抵抗性遺伝子の遺伝子工学的及び発生工学的研究
- (2) 原虫・宿主相互細胞機能の免疫病理学的研究
- (3) 自殺原虫による多機能ワクチンの開発研究
- (4) 安全な乳肉生産を目的としたベクター・コントロール・システムの開発

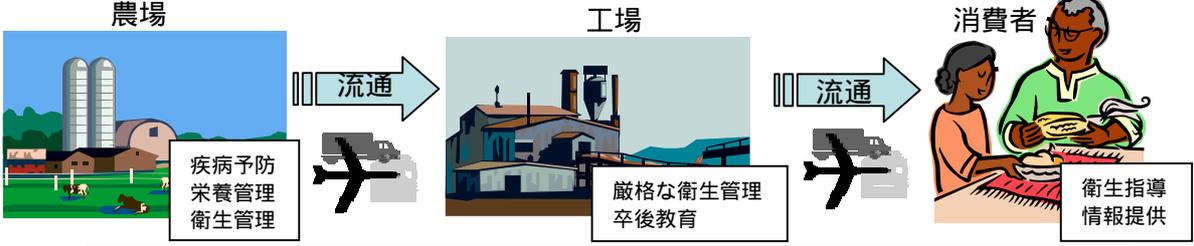
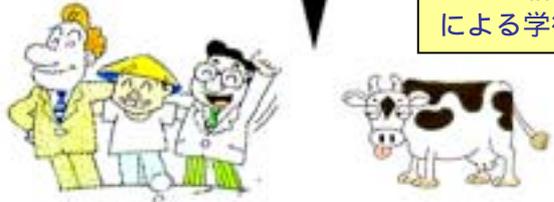


家畜生産性向上には原虫病対策が必須

- 畜産衛生研究グループによるフードシステムの構築
- (1) 食肉乳製品の化学的及び衛生的乳質の安全性に関する研究
 - (2) 家畜生産性向上のための新規生殖技術開発
 - (3) 食品安全性に対応したフードシステムの構築に関する研究

- 食品媒介性感染症研究グループによる動物性食品の安全性確保
- (1) 人畜共通感染症の感染機構と防御に関する研究
 - (2) BSE診断技術開発

リスク評価には科学的証明による学術貢献が必須



リスク分析、評価 ↔ リスク管理 ↔ リスクコミュニケーション

原虫病研究センターを研究中核とした高度先端研究による積極的関与